



久しぶりの校長室通信です。今まで出せなかったことを反省しながら、ブログの更新で赦されていると勝手に判断しました。

さて、今回、どうして思いついたように通信を出そうと思ったかということ、伝えたいことがあったからです。今週は3年生の国語の授業を2時間しました。詩の授業です。「わたしを束ねないで」(新川和江)の授業をしました。脱線が多く、好き勝手に実践した授業でしたが、久しぶりの授業でうれしかったのが、この通信のきっかけです。生徒たちがどのような感想を持ち、私がどんなコメントを書いたかを紹介します。生徒の名前は匿名です。どれが誰なのか想像してみてください。3年生の皆さんにも配ります。

○ たぶん和江さんは、私たち以上にしばられた生活をしていたと思いました。最後の連では、和江さんの希望も少し入っていると思います。和江さんの言っているように、私も私のやりたいことをできるようにがんばっていきたくと思いました。校長先生、授業ありがとうございました！！先生が質問したことに答えると、そこにさらに、「何故？」と言っていたので、すこし困るときもあったけど、話をしてくださるところがとても楽しかったです。

～それは、私の作戦です。作戦にまんまと引っかかったということです。悔しいでしょ！！希望を持って生きる、それが自分の解放につながるんだろうね。自由に生きるって難しい、けど生きたいって思う心を持ち続けたい、という和江さんの訴えなんでしょうね。

○ 僕も作者が言っているように、「日常」や「普通」としてみられるのではなく、一人の人間として見てほしいと思います。でも、自分の普段の生活の中で「○○なんだから」と思い人を見てしまうことがあるので、もっと一人一人の個性や思いにも目を向けるようにしたいと思いました。

～和江さんの個性に、詩を通して接してみると、自分の世界も広がりますね。読書や会話の魅力ってそこにあるんだろうなあって思います。

○ この詩を読んで和江さんは、自分にさせて！！ということを行っているのだと思いました。たくさんの自然のものにたとえて。何度も「～しないで」「～してください」と繰り返し言っているから、本当に訴えたい気持ちだったんだなあと思いました。擬人法、比喩などを使っているのですごいなあ、よくこんなに考えたなあと思いました。私もこれから「～しないで」「～してください」と言いたくなることはたくさんあると思います。そんな時は素直に相手に伝えていきたくいです。

～和江さんから素敵なおメッセージをもらいましたね。それはみんなの力で詩を読み解いたからです。しばられたくない思いついて、だれにでもあるもんね。

○ 最後の連「はてしなく流れていく 拡がっていく 一行の詩」では、自分の一生を広げていきたい？みたいなことかと思って、私も、(大人になると)いろいろなことにしばられると感じることが多くなると思うけど、自分らしく生きたいと思いました。

～いいねえ、素晴らしい読みだだと思います。和江さんからのメッセージと思って、もう一度読み返すと、さらに深まると思います。

- 人がみんなで生きて行くにはいろいろなルールやきまりが必要だから、しばられずに生きていくことはたぶん無理だろうと思うけど、その中でも、自分の個性とか考えとかは自由にできると思うので、そういうところで自由に生きていけるといいなあ、と思いました。

～そう！時代背景から考えても、女性はもっともっとしばられていたんじゃないかなと思います。できないかもしれないけど、できたらいいよね。そんな社会を作りたいんだよね。

- しばられずに、本当の自分を出せることが一番大切だなと思いました。自分の性格などをねじ伏せずに、自分の本当を出して、友達と話すなども大切になると思います。でも相手に迷惑をかけた、悲しんだり、傷つけることはいけないので、我慢することが大切だと思いました。

～ひとつの詩を読むことで、たくさんのことを考えられたことが素晴らしいと思います。あとは、どれくらい心に響くかということですね。

- 和江さんは詩という世界によって束ねられているし、書いているときに止めないでとか、段落とかで和江さんが書いた詩を区切らないでということをお願いののだと思います。

～そう！それでいいのです。それぞれがそれぞれに感じる大切で。「わからない」も大切な感じ方ですよ！！

- 私はあまり自由になりたいと思ったことはないけれど、この詩を読んでみて、いろいろしばられているかもしれないな、と思いました。だから、一度何にも考えずに自由に生活してみたいと思いました。どんな感じが想像してみたいです。校長先生の授業はいろんな話が聞けたし、詩はどんなものなのかが、また一から分かったのが楽しかったです。ありがとうございました。

～和江さんの思いに共感できたということですね。なかなか良い感性で詩を読んでいることがよく分かりました。たくさん気づくことができて感心です。

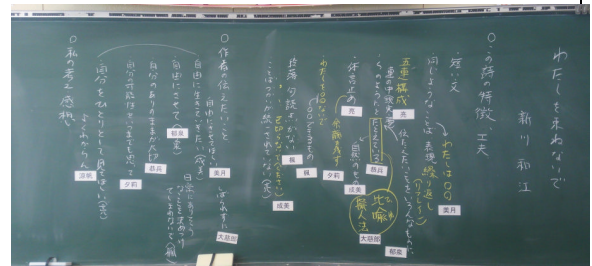
- 新川和江さんが何をこの詩で伝えようとしているのか、というのが分かりました。あと、亮君の意見を聞いて、新川和江さんは、人それぞれ個性があるから、決めつけたりしないでといたいのかなと思いました。よく考えると、いろいろな表現技法が使われているな、ということも分かりました。

～詩を書いている人ってすごいね。きっと命がけで書いていると思うよ。「何を伝えようとしてるのか」分かったそこが知りたいです。書けると良かったね。

「作者が何を伝えたいか」を考える授業でした。一人ひとり記述の中に、きちんとキーワードが含まれています。国語の主題追究はこれで良いと考えます。3年生の皆さん、他の人の記述を見てどんなことを感じますか？

「わたしを束ねないで」合唱曲もあります。

www.youtube.com/watch?v=v2d14M5PR0c



毎度汚い字でごめんなさい！板書は参考になりません。

【最近読んだ本】 『シューカツ』(石田衣良) 『コンカツ?』(石田衣良)
『珈琲店タレーランの事件簿 4』(岡崎琢磨) ←西川先生！出ましたよ！